

4章(平行と合同) 2節(図形の合同)

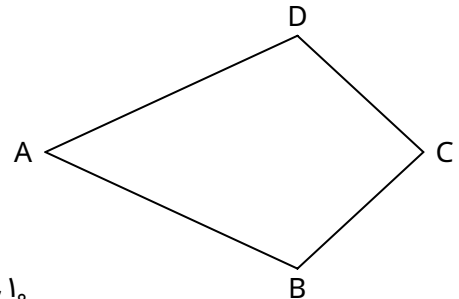
5. 三角形の合同条件の使い方

年 組 番

名前

1. 右の図の四角形 $ABCD$ で、 $AB = AD$ 、 $CB = CD$ であるとき、 $\angle B = \angle D$ であることを説明したい。次の問いに答えなさい。

$\angle B = \angle D$ であることをいうためには、どの2つの三角形が合同であるといえればよいか。



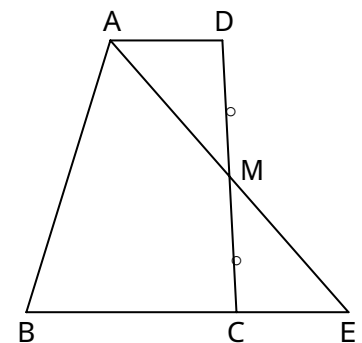
の2つの三角形で、等しいといえる辺や角を答えなさい。

から、成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。

の2つの三角形が合同であるとき、 $\angle B = \angle D$ がいえる理由を答えなさい。

2. 右の図は、 $AD \parallel BC$ である台形の辺 CD の中点を M とし、 AM の延長と辺 BC の延長の交点を E としたものである。このとき、 $AM = EM$ であることを説明したい。次の問いに答えなさい。

$AM = EM$ であることをいうためには、どの2つの三角形が合同であるといえればよいか。

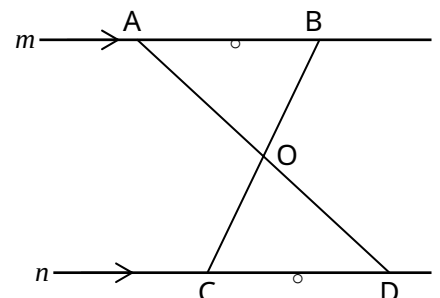


の2つの三角形で、等しいといえる辺や角を答えなさい。

から、成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。

3. 右の図で、 $m \parallel n$ 、 $AB = DC$ 、 AD と BC との交点を O とするとき、 $OA = OD$ であることを説明したい。次の問いに答えなさい。

$OA = OD$ であることをいうためには、どの2つの三角形が合同であるといえればよいか。



の2つの三角形で、等しいといえる辺や角を答えなさい。

から、成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。